

贈は、対象になりません。他団体へ相乗りだけでは認められません。次に補助金支給規定としまして美濃加茂クラブは3番目に該当します。EREY150ドル以上200ドル未満の場合で(10,000ドル)。地区の補助金はクラブ拠出金×「EREY達成率×1.5」となっています。次にグローバル補助金(人道的奉仕プロジェクト)につきましては、海外のロータリークラブと共同で人道的奉仕プロジェクトをする場合に申請できます。2630地区グローバル補助金に従って地区財団活動(DDF)から補助金が支給されると共に国際財団活動資金(WF)から上乘せされる。6つの重点分野に該当する事。プロジェクトの成果が持続し、測定が可能であること。申請は随時できます。グローバル補助金の使用条件として、2630地区では、当クラブは、多治見リバーサイドロータリークラブ、鈴鹿ベイロータリークラブとそれぞれ1,000ドル拠出をして、相手国タイ3350地区との共同プロジェクトで、基本的教育と識字率向上プロジェクト事業です。タイ国内の小学校80校に識字図書等の教材支援事業：そしてそれを指導する教員指導プログラム事業です。総予算は980万円です。補助金の資金管理の注意点として、クラブの一般口座は使用できません。専用口座を新規開設する事。補助金使用の対象は、原則すべて領収書がとれるものに限られません。先輩ロータリアンにはご承知のことと存しますが、新しい方もおいでですので、補助金がどのような仕組みになっているかをご説明させて頂きました。これで前座を務めさせて頂きました。では、勝川さんと交替したいと思しますので宜しくお願い致します。

やはり、水とトイレの問題が非常に悪いと言う事です。日本の様な衛生的なトイレを使用している国は全世界で3分に1と言われていています。残りの60%以上は不衛生なトイレで生活をしています。国によっては、未だ、何処かへ行って用を済ませている所もあります。それが雨が降ると、飲み水に混じったり、空気と一緒に、乾燥して風が吹いて、環境汚染が拡大し人々に悪影響を及ぼします。そういう状況ですので、ポリオ撲滅にはまだまだ時間がかかります。ロータリーがポリオ撲滅に投入する資金に対してビル・ゲイツ財団が2倍の額を上乘せすることに合意してくれ、最高4億5000万ドルが提供されることになりました。ロータリーはポリオのない世界を目指しています。時間が来ましたのでこの辺で終わらせて頂きます。ご清聴ありがとうございました。

#### ■地区国際奉仕小委員会 委員：勝川 生年君



◇安江さんお疲れ様でした。ロータリーは、1917年に発足し、1928年に、ロータリー財団と言う名称が付けられました。昨年には100周年を迎えました。2017年にはR財団寄付金が2,400万集まりました。内40%

がポリオ撲滅のために使われております。R財団の仕組み等は安江委員長が説明して下さいましたので、ポリオ撲滅の状況をご説明したいと思えます。ポリオ撲滅運動については1988年に活動が始まりました。今年で、30周年を迎えます。日本では昨日がその日となります。ポリオは2016年に全世界で、37の症例がありました。2018年に1月1日から9月まで18名に減っています。どこの国で発生しているのかと言いますと、パキスタン、アフガニスタンです。2016年に、ナイジェリアで、4人の症例がありました。パキスタンは20名が8人となり4人となり、ナイジェリアは4人が0となっています。アフガニスタンは治安が悪くまだまだ治る兆しがありません。何故感染するのかと言いますと、